

▶初日の出を背に豊秋地区の皆さんと



今年の元旦は、天気に恵まれ、早朝から市内各地でマラソン大会などが行われました。私も、豊秋地区、古巻地区、小野上温泉のマラソン大会を回りました。午前7時前、豊秋地区の

こんにちは!!

市長です

Vol.75

「元旦」

元旦マラソンのゴールとなった豊秋公民館で、地域の人たちと初日の出を眺めました。赤城山の裾野から昇る太陽が、渋川のまちを明るく照らしていく様子を見ながら「今年1年間、市民が安心して暮らせませすように」と祈りました。

午後、自宅近くであいさつ回りをしている途中、スマートフォンが、けたたましい音とともに緊急地震速報を伝えました。あぜ道に止めた車が大きく揺れ、スマートフォン画面から能登半島で強い地震が発生したことを知りました。

時間とともに地震の被害が拡大し、大災害になりました。その後、市も、被災地に飲料水の供給や消防士の派遣、給水車による支援などを行い、支援を続けています。

今回の地震で、特に深刻な影響を与えているのが、水道管の損壊による長期の断水です。改めて、生活における水の大切さを確認するとともに、老朽化が進んでいる市内の水道施設の強化が必要であると感じました。

渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館 (TEL 253215)

美術の小窓

《覚満淵》

八峠 操作

1973年

縦45.5cm×横53.0cm

素材:紙本着色



「覚満淵」は、赤城山の^{ひまいぞん}大沼の東南にある周囲1kmほどの湿原です。平安時代に比叡山延暦寺の高僧であった“覚満”が、この地で法会を行ったことが名前の由来ともされています。湿生植物と高山植物の宝庫で、春夏秋冬を通し自然が楽しめます。そんな覚満淵の秋を描いたのでしょうか。黄金色に輝く山と湿原が人目を引きま

す。平面作品を制作する場合には多く見られますが、立体作品ではなかなかテーマにしにくいのが“風景”。今回は、收藏品の中から山をテーマに描かれた風景画を紹介しています。2月26日(月)まで、市役所第二庁舎1階回廊の北東の壁面で展示しています。

●市美術館は、第二庁舎に3月3日(日)リニューアルオープンします

地域おこし協力隊

長沼隊員のおすすめスポット

— Vol.35 —



2024年もあっという間にもう1カ月が過ぎましたね。皆さんいかがお過ごしですか?今回はこの時期にぴったりのスポットをご紹介します。

協力隊のSNSでも度々ご紹介していますが、こちら!ロウバイの郷こもちです!私は写真を撮るようになってから四季のお花をより楽しむようになったのですが、冬に咲くこのロウバイを今まで知らなかったんです…淡い黄色をしていて寒い中、けなげに咲くロウバイをぜひ見に行ってみてくださいね!



▲協力隊のSNSはこちら

